

科目番号	JA205				
科目名	木材利用教育【選択科目】				
担当教員	(公財)竹中大工道具館、兵庫県立丹波年輪の里、SMALLAXE、兼光英喜(森林大学校専任教員)ほか				
科目区分	高度化コース・選択科目		人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数 2
授業時間数	15		コマ (30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	○		左の実務経験の内容	県産木材利用推進	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○		左の実務経験の内容	試験研究、行政事務、木材業	
実務経験を活かした授業内容	地域で育てられた「木」を暮らしや、教育の中に取り入れる幅広い活動実績をもとに、木材利用を普及するために必要な手法や技術を学ぶ。				

目的	これまで木材に関して学んできた知識や技術に基づき、地域の暮らしや教育の中に木材が取り入れられるために、何が重要かと「考える力」、どのように伝えるかの「伝える力」について、学ぶ。
概要	木工品や木材の販売促進策に関する取組事例や、古来から培われてきた木材活用法を学ぶことにより、スギ・ヒノキだけにこだわらない多様な木材の利用方策、利用の可能性や普及方法について考察する。
キーワード	①木材 ②広葉樹材 ③様々な木工道具・大工道具 ④木工 ⑤木育 ⑥伝える力
関連する科目	木材物理学、木材加工学、木材流通、木造建築・木材コーディネート、里山資源利用論、里山論
到達目標	<input type="checkbox"/> 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得 <input type="checkbox"/> 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得 <input type="checkbox"/> 多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	出席・態度 30% 課題・発表等 70%

授業計画	テーマ	講義内容
1～3	木材利用の推進事例調査	(1) ガイダンス (2) 木材を利用することの意義を考える (3) 木材(主に広葉樹材)の活用事例調査(於SMALLAXE)
4～7	木材利用推進施設調査①	(1) 兵庫県立丹波年輪の里の調査 (2) 兵庫県立丹波年輪の里の取組講義 (3) 木育の実践例の検討、ディスカッション
8～11	木材利用推進施設調査②	(1) (公財)竹中大工道具館(茶室含む)の調査 (2) (公財)竹中大工道具館の取組講義 (3) 宮大工の技術ワークショップ、ディスカッション
12～15	木材利用の体験・考察	(1) 但馬産材(主に広葉樹材)の有効利用に関する講義 (2) グリーンウッドワークに関する講義 (3) グリーンウッドワークの体験、ディスカッション

テキスト	テーマ毎に資料を配付、別途テキストの購入が必要な場合あり
参考書	
関連する資格	

備考

施設への入館料、体験のための材料代等が必要な場合がある。